

## スピナテーブルの取り扱いについて

拝啓

貴社ますますご清栄の段、大慶に存じます。又、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。標記案件につきまして以下に詳細をご報告させていただきます。

敬具

### はじめに

フルオートマチックレーザソー(DFL716\*)の洗浄部、保護膜塗布部に使用しているスピナテーブルのうち、導電性のコーティングを施した仕様において、短時間で多孔質状吸着面（以下ポーラス）が剥離する事象<sup>\*</sup>が確認されています。

スピナテーブルの取り扱い方法やテーブル洗浄の設定条件によってはポーラス剥離に悪影響を与えることがわかっています。

本書は装置を適切な条件でご使用いただくために、取り扱い等についてお知らせするものです。

- テーブル洗浄の推奨条件
- ポーラス剥離の確認方法
- スピナテーブルの取り扱いについて

※2016年1月における発生率は、約1.7%

### 対象

DFL7160/DFL7161

導電性のコーティングを施したスピナテーブル/FKFS-510000-1（テーブル外周部が黒色のもの）を搭載している装置。

### テーブル洗浄の推奨条件

テーブル洗浄は、テーブル面に付着したコンタミや保護膜片の除去を目的としています。

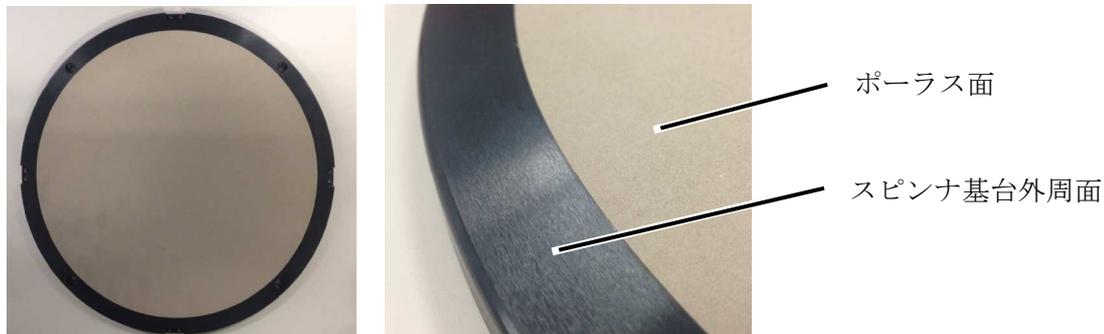
ポーラス部への負荷低減のため、下記の条件よりも時間又は回転数が多い場合は、下記条件への変更を推奨します。

	時間	回転数
洗浄	10 sec	500 /min
乾燥	15 sec	2000 /min

## ポーラス剥離の確認方法

---

- ① ポーラス面とスピナ基台外周面の段差を確認してください（正常値：50um以下）



- ② テーブルのポーラス面を指で叩いて異音が無いかを確認してください。  
判断方法： 局所的に響くような軽い音がした場合、剥離している可能性があります。



## スピナテーブルの取り扱いについて

---

スピナテーブルのポーラス部は接着構造を採用しています。

耐久性に優れた接着剤を選定しておりますが、以下の環境は接着部に悪影響を及ぼし、ポーラスの剥離を助長するため、この様なご使用は避けていただくをお願いいたします。

- ・ テーブルを弊社推奨の水温(25℃)以上にさらす
- ・ テーブルを薬品にさらす
- ・ テーブルを目詰まり状態(ワーク無し状態でテーブルバキューム時に-65kPa以上)で使用する

フルオート動作中にワークバキュームエラーが発生する場合はポーラスが剥離している可能性がありますのでポーラス剥離を確認してください。

ポーラス剥離が確認された場合は、スピナテーブルを交換してください。

## お問い合わせ

---

本件についてのお問い合わせは、ディスコ営業担当またはサービス窓口までお願いいたします。

以上